



## ご挨拶

今日は“*A-Winds45*” 2015年 春の演奏会にお越し下さり、誠に有難うございます。「こころ豊かな文化の香り高き町 大和郡山市」のお城の麓“やまと郡山城ホール”で皆様方と、こうしてお逢いすることができましたことに、*A-Winds*一同、心より感謝申し上げます。

1999年10月“アンサンブル”という少人数の音楽スタイルの延長上に位置付け“ウィンドオーケストラ”と称し、大人数編成で、遷都1300年の歴史を誇る奈良の都に発足しました。

同年の秋に初の舞台“デビュー演奏会”を開催、以後四季折々に開催する、*A-Winds*の定期演奏会も、第45回目を迎えることができました。これもひとえに、我々 *A-Winds*の活動、そして共に音楽をこよなく愛して下さった皆様方の御指導、御支援の賜物と心より御礼申し上げます。

今回は、トランペットパート全員が演奏会実行委員長ということで世代の影響もあってか、少し偏り、、、も感じるノスタルジックなプログラム構成でのお届けです。大昔の吹奏楽コンクールの課題曲にアイルランド民謡にJAZZに演歌に映画音楽、マーチにとテンコ盛り。思わず口ずさんでもらえたら嬉しいなと思いつつ、客席の皆さまと一緒に満喫に、乞うご期待です♪

眼を閉じて 若かりし日の 煌めきよ

*A-Winds*奈良アマチュアウィンドオーケストラ 団長 魚谷 昌克  
\*

今日は“*A-Winds45*” 2015年 春の演奏会へお越しいただき、誠にありがとうございます。当団は、年に3回演奏会を開催しており、毎回実行委員長によるカラーの違いをお楽しみいただけるよう企画しております。今回は『お客様に楽しんでいただける演奏会』をテーマに、トランペットパートが実行委員長を務めます。吹奏楽経験の有無や、年代に関わらず、多くの方々にお楽しみいただけるプログラムにいたしました。聴き馴染みのある曲も多いのではないのでしょうか。

また第二部では、フルート、サクソ、トランペットの各パートによるアンサンブルステージをお送りします。少人数ならではの繊細な音楽を通して、それぞれの楽器の魅力をお伝え致します。普段とは一味違った *A-Winds*をお楽しみ下さい。

最後に、本公演開催にあたり関係各方面よりご支援賜りました事を、演奏会実行委員を代表して心より御礼申し上げます。

“*A-Winds45*” 2015年 春の演奏会実行委員長 トランペットパート一同



## ご案内

### “*A-Winds 46*” 2015年 夏の演奏会

2015年6月28日(日) 14:00開演 やまと郡山城ホール 大ホール

“*A-Winds46*” 2015年 夏の演奏会は、トロンボーン奏者で元大阪市音楽団の松下浩之氏を客演指揮にお迎えして、吹奏楽ならではの響き、迫力を感じて頂けるよう、スパーク作曲の「宇宙の音楽」など聴き応えのある吹奏楽曲をはじめ、「剣の舞」で有名なバレエ音楽「ガイース」からの抜粋や、音楽番組のオープニング曲にも使用されている「キャンディード序曲」といった聴き馴染みのあるオーケストラ曲を揃え、皆様のご来場をお待ちしております。

“*A-Winds46*” 2015年 夏の演奏会 実行委員長 桶谷 牧子・佐藤 良一



## *A-Winds*奈良アマチュアウィンドオーケストラ

### Flute & Piccolo

佐藤 由加里  
佐藤 司  
魚谷 陽子  
小谷 愛奈

### Oboe

桶谷 牧子  
松井 志穂

### B♭ Clarinet

竹村 明恵  
森本 幸恵 (休団)  
近藤 晴美  
米田 彩乃  
山上 紗季

### Alto Clarinet

大西 晴己

### Bass Clarinet

塩崎 風咲子

### Bassoon

満江 孝文

### Alto Saxophone

島田 博一  
三宅 利幸

### Tenor Saxophone

初岡 和樹

### Baritone Saxophone

八木 理

### Horn

久野 耕三  
大田 雅美  
佐伯 直人  
富川 陽太

### Trumpet

魚谷 昌克  
表 恭子  
竹腰 綾香  
井上 寛治  
谷田 弥生  
鎌田 麻友  
山本 洋介

### Trombone

小泉 文浩  
田中 由美  
木下 真由美

### Euphonium

藤村 晃世  
尾登 勇介  
池内 砂織

### Tuba

杉浦 小道  
岸本 和

### Contra Bass

佐藤 良一

### Percussion

久保 寛美  
松嶋 春香  
浦野 佳美  
梶本 雅子  
小野 聖子  
森田 晶

### Piano

八木 真木

### Stage Manager

大西 伸幸\*

### Announce

境 貴子\*

団員=45名

\*=エキストラ

### “*A-Winds45*” 2015年 春の演奏会 実行委員

実行委員長  
宣伝 (チラシ)  
宣伝 (ミニレター)  
宣伝 (ウェブ)  
宣伝 (マスコミ)  
プログラムノート  
渉外  
印刷  
チラシデザイン

トランペットパート  
大西 晴己  
鎌田 麻友、竹腰 綾香  
山本 洋介  
井上 寛治  
表 恭子  
谷田 弥生  
佐藤 司  
浦野 佳美



2015年3月1日(日) 15:30開場 / 16:00開演  
やまと郡山城ホール 大ホール

主催 ● *A-Winds*奈良アマチュアウィンドオーケストラ  
後援 ● 奈良県・大和郡山市・大和郡山市教育委員会・奈良県吹奏楽連盟



## 第1部

指揮：魚谷昌克

### 高度な技術への指標

#### A Guide to The Advanced Technique

◇作曲：河辺 公一／Koichi Kawabe

◇出版：全日本吹奏楽連盟

この曲は、1974年度の第22回全日本吹奏楽コンクールの課題曲として作曲されました。コンクールの課題曲として初めてドラムセットが用いられ、これをきっかけにポップス調の課題曲が登場します。題名の通り、各楽器に高い技術が必要とされる一方、明るく軽快な曲調で、30年以上を経た今でもしばしば演奏される人気の高い曲です。華やかなファンファーレで始まり、ポルカ調のトランペットのメロディー、4ビート、ピギン、スウィングなど様々なタイプの音楽が繰り広げられ、最後には熱狂的なサンバも現れる、何とも楽しい曲です。

## アイルランド、デリー州の調べ（ロンドンデリーの歌）

### Irish Tune from County Derry

◇編曲：P. グレンジャー（パーシー・オールドリッジ・グレンジャー）

／Percy Aldridge Grainger

◇出版：Carl Fischer

◇備考：編曲：Kreines編

この曲は、題名にあるように、アイリッシュチューン（アイルランド民謡の一種）が起源です。様々な歌詞によって歌われ、「ロンドンデリーの歌」や「ダニー・ボーイ」のタイトルのものが有名です。ピアニストとしても活動したオーストラリア出身の作曲家グレンジャーは、英国各地の民謡やバラッドを録音収集した上、それらを“folk-music setting”という手法（単なる編曲ではなく、翻案して改作するといったニュアンスを持つ）によって世に問うた功績で知られています。

## 千と千尋の神隠し ハイライト

### Highlights from “Spirited Away”

◇作曲：久石 譲／HISAISHI Joe

◇編曲：遠藤幸夫／ENDO Yukio

◇出版：CAFUA MUSIC LIBRARY

「千と千尋の神隠し」は、日本で2001年7月に公開されて以来、過去最高の興行成績を記録し、米国でも公開され第75回米アカデミー賞長編アニメ映画賞を受賞するなど、破格のヒットを達成した宮崎駿監督・スタジオジブリのアニメーション映画です。その映画で使用されている音楽の中から「あの夏へ」「底なし穴」「竜の少年」「仕事はつらいぜ」「ふたたび」「帰る日」の6曲が、シンフォニックスタイルのメドレーとして編曲されています。

トンネルの向こうにある不思議な町に迷い込み、たくましくなって戻ってくる主人公・千尋の冒険が描かれています。

## 第2部

アンサンブル・ステージ

トランペット四重奏

### 「凱行進曲」～歌劇《アイーダ》第2幕より “Triumphal March” – from the opera Aida

◇作曲：G.ヴェルディ（ジュゼッペ・ヴェルディ）／Giuseppe Verdi

◇編曲：野間裕史／Yuji Noma

◇出版：ミュージック・ベルズ

オペラ『アイーダ』のうち、有名な「凱行進曲」をトランペットアンサンブルにしてお届けします。このオペラは、古代エジプトを舞台に、二つの国の間で引き裂かれた男女の悲恋の物語です。その中で「凱行進曲」は、第2幕・第2場でエチオピア軍との戦いに勝利したエジプト軍が、凱旋するシーンに登場します。場面としても有名なため、多くの場所で様々な方法により上演されています。

出演者：井上 寛治 竹腰 綾香 鎌田 麻友 山本 洋介

フルート四重奏

### スタジオジブリ for 4 Flutes

#### STUDIO GHIBLI for 4 Flutes

君をのせて(天空の城ラピュタ)～鳥の人(風の谷のナウシカ)～いつも何度でも(千と千尋の神隠し)～崖の上のポニョ

◇作曲：久石譲・木村弓／Joe Hisaishi, Yumi Kimura

◇編曲：大村一弘／Kazuhiro Ohmura

◇出版：foster music

スタジオジブリの楽曲の中から、4曲をメドレーでお送りします。1曲目は1986年公開の『天空の城ラピュタ』のエンディングテーマとして作られた「君をのせて」。シータとパズーの二人の姿を思い浮かべながらFluteの音色で作られるアンサンブルをお届けします。2曲目は1984年公開の『風の谷のナウシカ』から「鳥の人」。Fluteの音色は鳥の鳴き声に例えられることも多く、Fluteらしい編曲となっています。3曲目は2001年に公開された『千と千尋の神隠し』の主題歌「いつも何度でも」。三拍子のリズムに乗せて、少し音の低めのAlto Fluteにも耳を傾けてみてください。4曲目は2008年に公開された『崖の上のポニョ』。人間になりたいというポニョと、宗介のかわいらしい様子を、Fluteの軽快なリズムにのせてお届けします。

出演者：小谷 愛奈 魚谷 陽子 佐藤 司 (Flute)

佐藤 由加里 (Alto Flute)

サクソ四重奏

### 「ボーギーとベス」より

#### Selection from Porgy and Bess

◇作曲：G. ガーシュウィン（ジョージ・ガーシュウィン）

／George Gershwin

◇編曲：B.ホルコンブ（ビル・ホルコンブ）／Bill Holcombe

この曲はオペラ「ボーギーとベス」より、いくつかの曲をメドレー形式に編曲したものです。舞台は1920年代、アメリカ南部の黒人スラム街。麻薬や賭博、差別に苦しみ彼らの生活。そんな困難のなかでも、明日への希望を諦めないで強く生きる人々と、1人の女性を思い続ける男の愛の物語が描かれています。本日はサクソ四重奏による演奏をお届けします。

出演者：三宅 利幸 (Soprano Saxophone)

島田 博一 (Alto Saxophone)

初岡 和樹 (Tenor Saxophone)

八木 理 (Baritone Saxophone)

## 第3部

指揮：魚谷昌克

### パリのアメリカ人

#### An American In Paris

◇作曲：G. ガーシュウィン（ジョージ・ガーシュウィン）

／George Gershwin

◇編曲：岩井 直博／Naohiro Iwai

◇出版：ヤマハ音楽出版

ガーシュウィンは「ラプソディー・イン・ブルー」の成功によって一躍クラシック音楽作曲家のホープとなりました。当時ニューヨーク交響楽団の指揮者を務めていたウォルター・ダムロッシュは、彼に関心をもち、交響詩的作品を書くよう依頼しました。この依頼に強い意欲を示したガーシュウィンはパリに赴き、そこでの印象を織り込みつつ新作の作曲活動を進めました。そうして生み出されたのがこの曲で、アメリカ人とはガーシュウィン自身のことです。

彼はこの曲について、「私の試みた最も現代的な作品で、この曲は一人のアメリカ人がパリを訪問し、様々な騒音を耳にしながら、フランス的なものを少しでも吸収しようとしている姿を描いたものだ。」と述べています。

### ニュー・シネマ・パラダイス

#### Nuovo Cinema Paradiso

Nuovo Cinema Paradiso ～ Tema D’amore ～ Prima Gioventu

◇作曲：E. モリコーネ（エンニオ・モリコーネ）

／Ennio Morricone

◇編曲：大島 ミチル／Michiru Oshima

◇出版：EMIミュージック

「ニュー・シネマ・パラダイス」は、1988年（日本では1989年）公開のイタリア映画です。中年男性が、映画に魅せられた少年時代と青年時代の恋愛を回想する物語で、感傷と郷愁、映画への愛情が描かれています。映画の内容と相まって、モリコーネの音楽がよく知られています。映画で使用されている曲の中から「ニュー・シネマ・パラダイス」「愛のテーマ」「初恋」の3曲がメドレーとなっています。

### ど演歌えきすぶれす

◇編曲：杉浦 邦弘／Kunihiro Sugiura

◇出版：Wind Gallery

今回、実行委員を務めさせていただいておりますトランペットパートの、「お客様に楽しんでいただける音楽を」のコンセプトのもと、プログラム入りを果たした曲です。皆様おなじみのあの曲、この曲がなんと14曲も登場します。曲名は……演奏を聞いていただいてのお楽しみです。さて、何曲ぞ存じでしょうか。



### A-Winds メンバー募集

#### ●募集パート

・Oboe 1名  
※イングリッシュホルンも演奏できる方、イングリッシュホルンもお持ちの方、大歓迎です！  
まずはご相談ください！

・E♭ Clarinet 1名  
・B♭ Clarinet 5名  
・Fagott 2名  
・Horn 2名  
・Trombone 1名  
※バストロンボーンをお持ちの方、大歓迎です！

・Tuba 1名  
・Contra Bass 1名  
・Percussion 1名  
・Stage Manager 1名

- A-Windsの活動趣旨(ウインドアンサンブル&オリジナル重視)に賛同頂ける方
- ご自分で楽器を準備できる方
- 全ての活動に賛同頂ける方
- 18歳以上の方
- 詳細はお問い合わせ下さい。

問い合わせ先は<e-mail>a-winds@amber.plala.or.jp